

ポリテクカレッジ卒業生の活躍事例

北海道職業能力開発大学校応用課程 生産機械システム技術科
平成18年度卒業 シンセメック株式会社 石神 勇二 さん

北海道職業能力開発大学校では

- 石神さんが学んだ北海道職業能力開発大学校の生産機械システム技術科は、製品の企画開発から各部設計、各部製作、組立、調整までの一貫した生産工程をグループワーク方式で実習（開発課題実習）をしており、現場さながらの教育を実施しています。
- 石神さんは、在学中からものづくりが好きで、開発課題実習の壁歩行ロボットの製作では加工を中心に熱心に取り組んでいました。

就職先企業での活躍

シンセメック株式会社（本社 北海道札幌市）

- シンセメック社は精密部品加工で蓄えた技術に先端頭脳をプラス。機械ユニット加工、組立から省力・自動化機器の設計製作まで行っています。
- 各企業の将来を賭けたニーズに答え、様々な省力化機器や試験機、計測機器、そしてロボット組み込み機器を考案、設計し、そのアイデアが各界から高い評価を受けています。
- シンセメック社のメリットの一つは、低コストでできること。設計から加工、組立、さらには制御まで、一貫して自社で行うことで何社にも渡る費用を抑えることが出来ます。
- 精密機械、電気、コンピュータ各分野のスペシャリストが集まる集団は小さいながらも和気あいあい。気さくな雰囲気の中で新たな可能性にチャレンジしています。



職場での活躍

- 石神さんは、マシンセンターで機械加工を担当し、マシニングセンタなどのNC加工機を使用して、自動化装置の部品やダイキャスト用金型部品などの加工を行っています。
- 石神さんのコメント
「大学校で機械加工の基礎、また開発課題実習で企画から製作までの一連の流れを経験、学べたことはとても役立っています。さらに加工においては、様々な材料を加工するので各材料の特性などもしっかりと勉強して置けばよかったと思っています。」



上司からの声

- マシンセンター長 布川 丈嗣 氏
石神君は今年で入社5年目ですが、機械加工業務では問題なくやれている状況になってきています。加工では、何といたっても作業のスピードが大事ですので、これからもスピード感のある作業をやってほしいと思います。

